

平成22年度新居浜市健康都市づくり推進協議会会議録

日時：平成22年7月16日（金曜日）13：10～14：15

場所：保健センター3階 大会議室

出席者 委員17人（大橋委員 加藤委員 松木建委員 秦委員 近藤委員
続木委員 平田委員 遠藤委員 渡邊委員
天野委員 田那部委員 松木ッ委員 竹内委員
秋本委員 田中委員 品川委員 近藤委員）

傍聴者 なし 事務局 9人

司 会
（事務局）

本日はお忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。定刻がまいりましたので、ただ今から、「新居浜市健康都市づくり推進協議会」を開催いたします。

本協議会は「新居浜市審議会等の公開に関する要綱」に基づき傍聴席をもうけております。本日の傍聴はありません。会に先立ちまして新居浜市長よりごあいさつを申し上げます。

市 長

全国で集中豪雨による被害に合わせ大変御関係ある方々にはお見舞い申し上げたいと思います。新居浜市も平成16年に被災し他人事でないような気持ちでニュースをみておりました。さて、今日は新居浜市健康都市づくり推進協議会ですが、後ほど昨年度の報告させていただきますが、去年はインフルエンザの流行ということで様々な対応に追われていました。また、医師会の先生方のご協力を得まして内科・小児科の急患、特に深夜帯の開設、急患センターそのものの移転をするということで市民のみなさまに喜んでいただきました。結果的に保健センターのスペースを今、改装しておりますが、保健・健康づくりのために使えるように活かしていきたいと思います。様々な課題がございますが、医療の問題、健康づくり、予防接種など政権交代がございましたのでどういう方向になるのかわかりませんが、市民の暮らしを守るため一生懸命がんばってまいりたいと思います。今日は役員改選、元気プランの取り組みについての議題がございますので熱心なご審議をお願いしたいと思います。

事 務 局

ありがとうございました。続きまして、委員の紹介ですが、今年度は委嘱換えにより、全員、新委員になりますので、自己紹介をお願いしたいと思います。（大橋委員から名簿順に団体、役職を自己紹介）なお、本日加地由照委員様、宮崎清重委員様、白石宗久委員様、荒井良昭委員様は用務のため欠席でございます。

事 務 局

ここで、市長は公務のため退席させていただきます。それではお手元の会次第にそって、進めさせていただきますので、よろしく申し上げます。新居浜市健康都市づくり推進協議会設置要領第4条に基づきまして、会長、副会長の選出をお願いいたします。

松木建 委員

事務局案はないのですか

事務局

事務局では会長に医師会長の大橋委員、副会長に福祉部長近藤委員をお願いしたいと考えております。
(会長、副会長、承認)

事務局

会長は大橋委員、副会長は近藤委員に決定いたしました。
それでは大橋会長、就任のあいさつをお願いいたします。

会長

日頃、新居浜市の保健福祉・健康づくり計画にご理解・ご支援いただきありがとうございました。3年前ははしかが流行、去年は新型インフルエンザで大騒動、保健センターの方々も大変苦労されたと思います。なんとか乗り切れましたが、今後第2波も想定されておりますので迅速に対応できるよう備えておかなければと思っております。本日の議題であります健康づくり事業 平成21年度実績報告及び平成22年度事業計画について 「元気プラン新居浜21」について審議したいと思います。

事務局

ありがとうございました。それでは、これからの進行は要領第5条の規定によりまして、大橋会長をお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

議長（大橋）

それではただ今より、お手元の会次第にそって、議事をすすめてまいりたいと思います。

まず、議題（1）新居浜市健康都市づくり推進事業①平成21年度事業実績及び平成22年度事業計画について説明をお願いします。

事務局（渡部）

それでは平成21年度事業実績報告及び平成22年度事業計画についてお手元の資料に沿って説明いたします。

・母子保健事業（P.2~3）

保健センターの母子保健事業は、妊娠期から就学前までの支援を主として行います。妊娠期では、母子健康手帳交付と同時に妊婦健康相談を実施しております。必ず指導の際は、禁煙指導を行い、妊婦の喫煙者には専門の病院受診を指導いたします。去年の交付数が1175冊です。

次に特定不妊治療費助成事業では、昨年度から実施した新規事業です。これは、国の少子化対策の一環として体外受精や顕微授精等の治療を行った人に対してその費用の一部を助成するものです。県の助成金を差し引いた残りの額で年1回5万円を上限に通算5年間助成いたします。去年は、45人に助成いたしました。今年度も、継続して実施です。

又、パママ教室（ぷくぷく）は、1コース4回の年4コースで実施しております。今年も同様の開催をし、妊婦さん同士のお友達作りや父親の育児参加を主目的にした内容で実施しております。

す。

妊婦一般健康診査につきましては、平成20年度に5回の助成に拡充されておりましたが、昨年には、14回の拡充となりました。それぞれの実績は表のとおりでございます。

乳幼児期では、乳児一般健康診査、5ヵ月児健康相談、すくすく乳児相談を実施しており、乳児の健康な発育発達を支援しております。21年度実績は、表のとおりでございます。

次に健診ですが、1歳半健診と3歳児健診を毎月1回開催しております。歯科及び内科・小児科医師による診察を始め身体計測、発達相談、保健指導などを行い、問題を持った乳幼児の早期発見・早期治療を図るとともに、乳幼児の健全育成を図っております。実績は、平成21年度の1歳半健診が1091人(91.8%)、3歳児健診が906人(88.5%)、です。

又、家庭訪問ですが、乳児家庭全戸訪問事業（通称：こんにちわ赤ちゃん事業）、育児支援家庭訪問事業を実施しております。看護師3名と保育士2名を雇いあげて、これらの訪問に当たり、母親への育児不安と虐待の早期発見に努めております。訪問の際には、エジンバラ産後うつ質問票を使い早期に母親の産後うつ病に対応できるようにしています。実績は、生後4ヶ月までの家庭訪問が989件、ほか表のとおりでございます。

健診後のフォローとしては、にこにこクラブ、乳幼児発達相談を行います。にこにこクラブにつきましては、昨年度は、発達支援課の教室開催もあり一時中止しておりましたが、健診後のフォロー体制の整備の上からも平成22年度、再度実施と致しました。

次に、その他としては、父親の子育て支援事業を昨年は、市民協働事業として実施し、お父さんのための育児講演会、お父さんだけの育児教室を開催しました。父親の育児参加を呼びかけて、子育ての充実を図るよういたしました。

母子出前講座は、保育園や学校等に行き歯科保健や事故防止・生活習慣病予防などについての講演をいたしました。年間19回、1544人の実績です。

又、昨年、産科医療確保支援事業がH21年度新規事業として実施されるようになり、新居浜市では、2医療機関からの申請があり、252件の補助を行いました。（これは、地域でお産を支える産科医等に対して分娩手当等を支給する事より処遇改善を通して急激に減少している産科医療機関等の確保を図るものです。）

・学生受け入れ（P.3）

学生の受け入れも5施設の学生さんの受け入れております。

・成人保健事業（P.3~5）

成人保健事業につきましては、集団検診を年度版けんしんカレンダーに基づき、保健センター及び公民館で実施しております。各種がん検診、骨密度検診、肝炎ウイルス検診等を一部個人負担金を徴収し実施しております。今年度のけんしんカレンダーを追加資料としてお配りしておりますので参考にして下さい。平成21年度実績は表のとおりでございます。

成人歯科健診は現在、実施中で、7月から9月までの3ヶ月間、40歳か70歳の市民に対して市内委託医療機関で実施しております。昨年度は556人の実施でした。各種がん検診の実施につきましては、がん対策基本法に基づき受診率のアップやがん予防啓発を行っております。

昨年度は、女性特有のがん検診推進事業が新規事業として始まり、子宮頸がん検診と乳がん検診においては無料のクーポン券を発行しての実施となっております。子宮頸がんの方が20歳から40歳を対象にして5才キザミの節目検診で実施、乳がん検診は、40歳から60歳を対象に同じく5才キザミの節目検診で実施となっております。実績については、子宮頸がん検診が集団で1404人のうちクーポン券使用は287人、クーポン券使用の個別の子宮頸がん検診が705人、乳がん検診の集団が1726人実施のうちクーポン券使用1032人、クーポン券使用の個別の乳がん検診が629人となっております。受診率は、子宮頸がん検診が23.06%、乳がん検診が7.82%です。今年度も継続して実施です。

8/7(土)、8/8(日)にイオンモール新居浜で乳がん無料クーポン対象者のマンモグラフィ検査をピンクリボンえひめ共催イベントとして実施いたします。PRの御協力よろしくお願ひします。

又、一日人間ドックについては、昨年度より対象者を30歳以上とし、上限をのけての実施しております。昨年実績は、505人です。その他には、生活習慣病予防のための、健康相談・健康教育、電話相談、健康手帳交付、家庭訪問指導と昨年度同様に実施いたします。実績につきましては、表のとおりです。

精神保健対策が厚生労働省から次々に出される中、保健センターでも、精神障害者の家族教室の開催と心と体の癒しコンサートを実施しております。今年も7月14日にヒーリングコンサートと題して①がん予防講演会②こころの健康づくりのためのピアノコンサートの2本立てで、文化セン中ホールで開催いたしました。皆様のご協力のおかげで大盛況に終わっております。

・健康推進事業 (P.5~6)

健康推進事業は、大きく分けて女性の健康づくり事業と健康都市づくり事業に分けられます。

女性の健康づくり事業は、女性健康診査(集団検診の実施)とそのフォロー教室の開催、又、食生活改善地区組織活動としましては新居浜市食生活改善推進協議会と協働で親と子の料理教室や生活習慣病予防をテーマにした地区栄養実習、運動のつどい等を実施しております。今年ももうすぐ夏休みですが、夏休み中に親子の共同体験事業という事で、公民館や保健センターで親子料理教室を開催いたします。又、食生活改善推進員教育事業では、規定のコースを終了していただき修了者には、新居浜市食生活改善推進協議会活動に参加していただき地域の健康づくりの推進に携わっていただきます。

又、保健センターでは今年度から食育推進事業として(新規事業)保育園の保育参観日に併設して、食の大切さや自分にあった食事

の選び方等についての食育教室を開催しております。今年度は新居浜保育園を皮切りに5園での実施予定となっております。

次に、健康都市づくり事業ですが、これにつきましては議題2で事業担当者からその活動をご説明いたしますので、省かせていただきます。

・感染症対策事業 (P.6)

結核レントゲン検診は65歳以上の市民を対象に公民館等で開催しております。昨年実績は、26回開催の858人実施となっております。

乳幼児予防接種は、ポリオのみが集団接種で、その他は、委託医療機関43ヶ所で開催していただいております。それぞれの接種数と接種率は表のとおりでございます。

日本脳炎予防接種につきましては、平成17年に積極的接種の差し控え勧告が出されてから一時接種を中止しておりましたが、1期については解除されております。次に、高齢者インフルエンザ予防接種については、65歳以上希望者に10月15日から12月31日までの2ヵ月半の期間に実施いたします。昨年は、17900人で54.8%の接種率でした。(H20年には19250人の59.5%)で若干下がっておりますが、新型インフルエンザの影響かと考えられます。

新型インフルエンザ予防接種につきましては、昨年、全国的な大流行となり、ワクチン不足も騒がれる中、新居浜では24544人の接種ができました。そのうち、実費負担軽減補助を受けた人数は1923人でした。

・医療対策事業

市民の休日・夜間における救急医療体制を確保するために、内科・小児科 救急医療を新居浜市医師会に委託し、救急診療をしていただいております。小児科診療におきましては、深夜帯診療が平成21年度から開始されております。実績は、休日診療が5682人(一日平均81.2人)、夜間診療が4169人(一日平均14.1人)、小児深夜帯診療が1303人(一日平均4.4人)でした。

在宅当番医制運営事業は休日の外科救急医療対策として実施しております。昨年度は906人でした。(H20年は904人)

大島診療所運営事業は、離島無医地区医療対策として実施しております。毎週2回内科1回と外科1回で診療しています。昨年度実績は、内科が234人、外科が648人。

別子山診療所運営事業はへき地無医地区の医療対策として実施しております。毎週1回で、第3木曜日が外科診療でその他木曜日は内科診療を行っています。内科が325人、外科が41人です。今年度も同様に実施いたしております。

以上ですが、資料7P,8Pには、『平成21年度新規事業』を取り出してまとめておりますので合わせて後ほどご覧ください。

長くなりましたが、以上平成21年度実績と22年度事業計画の説明を終わります。

議長（大橋）

母子保健事業について、何かご質問・ご意見はございませんか？

秦 委 員

乳幼児の相談・教育をたくさんしていただいております。ありがとうございます。父親の子育て支援事業ですがこの不景気の中、実際に休暇をとって事業に参加している人はどのくらいでしょうか？

事務局（木戸）

この事業に参加されている数といたしましては昨年度の父親の子育て支援事業は休日開催をしておりに平日に開催していないためすみませんが把握できていません。ただ、両親学級（ふくぷく）の4回（1コース）のうち1回が父親参加の平日開催になっております。1回あたり25～26組のうちその半数以上である10～15名程度のお父さんの参加がありますのでお父さんは休まれて参加されていると思われま。実際、男性の育児休暇とかいろんな制度がありますが、公務員とか大手企業がそういう制度を運用できていると思いますが、なかなか民間ではそこまでは難しいと考えています。

議長（大橋）

制度的にはあっても社会の理解はまだですが、子育てについてはお母さんもお父さんも協力していける体制にしないといけないですね。その他にはないですか？

竹内委員

乳児家庭全戸訪問事業ですがこれは非常に保護者の虐待予防等含め、いい事業だと思うのですが、どのくらい把握できているのでしょうか？他の市町ですが99.9%の後の1例2例がリスクの高い家庭と認識されています。そのへんはいかがなものでしょうか？

事務局(木戸)

乳児家庭全戸訪問事業ですが新居浜市の場合95%程度になります。あとの5%というのが長期の里帰り出産で新居浜になかなか帰ってこられない場合と何らかの疾病があり長期の入院されている場合があります。乳児家庭全戸訪問事業でほとんどの家庭を把握するというのと、この後新居浜市の場合5か月の乳児相談をしております。これが新居浜市の5ヶ月児全対象としておりますので、相談を案内しまして来られてない方には未受診者訪問という形で訪問しておりますので5ヶ月時点が96.2%(平成21年度)の把握率となっております。できるだけ虐待とかいろいろ問題がありますので把握できるようにしております。

議長（大橋）

成人保健事業についての質問ありませんか？

近藤達委員

大腸がん検診についてですが、先日協立病院で特定検診を受けたが、大腸がん検診が入っているものと思っていたが入ってなかった。それを受ける場合は1500円かかるらしいですが、多喜浜公民館で受ける場合は500円、何か理由がありますか？

事務局（藤縄）

特定健診は生活習慣病のみ、血管の傷みによるような循環器系に特化した健診になっておりますのでその中にはがん検診は含まれておりません。心筋梗塞や脳卒中や糖尿病などの予防・重症化を防ぐための健診になっております。それは市が医療機関に委託しております。

次に大腸がん検診ですが行政の方で地域の公民館や保健センターにて集団検診で 500 円で実施しております。お手元に「けんしんカレンダー」があると思いますがその内容でやっておりますので一人でも多くの人に受けてもらいたいと思います。70 歳以上の人が受ける場合は無料です。事前に申し込みいただいた方から市の方から採便容器を 2 本お送いたしますので検診会場に当日お持ちいただくことで検査ができますのでご利用願えたら非常にありがたいです。

近藤達委員

前もって予約するのですね。よくわかりました。

加藤委員

大腸がん検診ですが、男性は喫煙の影響で肺がん・胃がん・大腸がんが 3 位ですが、女性は今、子宮がん乳がんを越えて大腸がんが（がんによる）死亡原因の第 1 位である。そういうがんは症状がない。症状がないので手遅れになりやすい。大腸がん検診はそれまでのように健診と一緒に受けられると精査をうける大きな動機づけになる。平成 19 年から仕みが変わって 3 分の 1 くらいの方が受けられなくなり非常に大きな問題点がある。国の方針で問題がある所は新居浜市独自で死亡率をあげている層を重点的にやると公衆衛生的な成果がでる。市民の人の健康意識をあげるために我々がやれることでもあります。

議長（大橋）

これは大腸がん検診が集団に移行したことでの受診率が低下している状況です。受診率が上がるように相当努力しないとイケない。女性の大腸がんは相当増えていますから何らかの方法を検討していただきたい。受診率は男性より女性の方多いと思いますが、年齢構成的にはどうなっていますか？

事務局（藤縄）

最近、男女別年齢構成をまとめたのですが、それまで 70 代以上の方が 6 割受けていたのですが、平成 19 年度以降、集団検診になってからは男性が伸びてきました。働きざかりの世代に啓発をしまして、40 代、特に 50 代～60 代の女性の割合が増えました。全体の中では 1700 人しか受けていないのですが、集団になって全体数は減ったのですその割合が 70 代に特化したものでなく 50 代・60 代、若い人に受けてもらってよかったと思っております。

議長（大橋）

高齢者が減って壮年者増えたということですね。1700 人の方の男女比率は女性が多いということですね。

加藤委員

高齢者を受け流した現状が結果として受診者が大きく減っています。3分の1以下に減っているこの現状をかえないといけない。特定健診と切り離している国の政策では受けにくい状況ですので新居浜市独自のしやすい方法を本気で考えていただきたいと思います。

議長（大橋）

時間がせまっていますのでこれは前回の会でもでしたが、もう一度見つめ直して可能な限り検討していただきたいと思います。その他にございませんか？

議長（大橋）

それでは健康推進事業について。（質問者なし）

議長（大橋）

感染症対策事業について質問ないですか？

加藤委員

インフルエンザの予防接種について。22年度に新型インフルエンザと従来の香港型AとBとの混合ワクチンが新しくできました。昨年度は高齢者への助成と新型への助成とありましたが、従来の季節性インフルエンザのように高齢者だけを助成する考え方だと若年者の経済的に困窮している方が受けられなくなってしまうのでそのへんのお考えをお聞かせください。

事務局(伊藤)

今年はワクチンが変わり、例年の高齢者に対する季節性インフルエンザワクチンの中に、今まで新型とされていたワクチンも一緒に含まれているので、その部分は季節性の予防接種として扱うということになるのではないかと思います。あと一つ、国の方からはっきりした文書が来たわけではありませんので何とも言えないのですが、国の方針に従って接種していくわけですが、とりあえず新型の新しい患者さんの発生もほとんどないようすが今まだこの事業は継続していますので、国の動向を見ながら行っていくつもりです。

加藤委員

確認ですが、ワクチンも変わりましたが、高齢者だけでなく新型ワクチン接種の補助として経済的に困窮されている方がこの新しい季節性ワクチン接種の補助を受けられることができるようになる訳ですか？

議長（大橋）

この新しいワクチンは従来の季節性ワクチンプラス新型インフルエンザが入ったもの（三価インフルエンザワクチン）ですね。

事務局（伊藤）

高齢者の分についてはまた10月から始まりますが、この時のワクチンは三価のワクチンになると思います。現在使われている新型インフルエンザの予防接種については若い方、今、健康成人も全員打てるようになっていきますので低所得者に対しての補助は今のワクチンのままでしたら続きますが、今度の三価のワクチンに

については国の指示をまってからになりますので若い人に対しては未定です。

加藤委員

基本的には新型と季節性とが組み合わせられて 1 本になるのですからその 1 本で高齢者以外の人は補助をどうするのか？

事務局（伊藤）

それについては国・県の指示がないので新居浜市も国・県の指示通りに従う予定です。

議長（大橋）

保険料のこともありますし、国からの指針もまだという状況ですが、適切な運用をお願いしたいと思います。他には？

加藤委員

いろいろな予防接種がありますが、ずいぶん公費の補助ができています。子宮頸がんワクチンなんかは小学校高学年・中学年に東京都は昨年・山梨県・徳島県全域に補助を行うという情報が入ってきている。肺炎球菌ワクチンについては 2 割の自治体が補助を行っていますが、新居浜市の考えをお聞かせ願いたいと思います。

事務局(伊藤)

HPVワクチンはこの 12 月に日本でも認可されたばかりなので任意接種としての扱いとなりますので、健康被害の問題とかワクチンの供給状況等いろいろと考えないといけない問題があります。あと予算的なこともありますのでその辺を考えながら、また検討していきたいと思います。併せて任意の予防接種に公費の補助を行うとなると HPV だけでなく高齢者の肺炎も医療費が高いので高齢者の肺炎球菌、乳幼児肺炎球菌、ヒブワクチン、同時におこなうのか、どこまでを公費補助するのかを含めて検討していきたいと思っています。

議長（大橋）

ある時は予防医学が重要といいながら裏付ける予算がなく、全国的な事ですが具体的な内容がない。子宮頸がんはヒトパピロマウイルスの接触によって若いころからの性行為によるものとわかっているので HPV ワクチンによって防げるのは明らかですからお金の問題があるわけですけど予防医学の観点からワクチン行政は一生懸命やらないといけない。今の産婦人科医会としては県に対しても新居浜市に対しても特に HPV ワクチンについては医師の負担など可能であれば接種をお願いするつもりです。

加藤委員

新型インフルエンザが流行った時は学校現場も行政も自治体も各医療機関も大変混乱した。情報が重要だが国や県からの情報も来ませんし患者さんがどのくらいでているかもなかなかつかめない。学校の養護教諭の先生がパソコン端末で入力すれば今、手をあげればほとんどお金がかからず導入できる感染症研究所がだしているシステムがあるのですが今のうちに仕組みを作っておけば新型インフルエンザだけでなく学校・保育園・幼稚園などに感染

症情報をだしてあげられ、たくさんの自治体が実施していますので、新居浜市としても縦割り行政をこえて導入していただきたい。

議長（大橋）

一般の方には今のお話はわかりにくかったと思いますが、この件については何回か教育委員会にも伝えているし、市長さん同席のところでも伝えている。インフルエンザが流行った時に各学校で毎朝各担任の先生が聞き取り欠席者情報を FAX で文部科学省と厚生労働省のデータへ、縦割りのため同じものを流して集計しており 2 度手間になっている。5 分の入力作業で新居浜市でいえばリアルタイムで校区単位で把握できる便利なツールを活かしているということですが最終的には教育委員会の判断になると思います。

次、医療対策事業についてありませんか？

続いて、(2) 健康増進計画「元気プラン新居浜 2 1」に関する健康推進員の取り組みについてご説明をお願いします。

事務局（近藤）

それでは、健康都市づくり推進員の取り組みについてご説明いたします。お手元の資料の 9 ページですが、時間がおしいいますのでこちらの方はご覧になってください。

次に 10 ページをご覧ください。平成 21 年度（昨年度）と活動ですが、健康都市づくり研修会を月 1 回開催しております。内容につきましては、推進員の知識の習得ということで「受けよう健診」「食育について」「これからの健康づくり」「元気プラン新居浜 2 1 の中間評価と今後の取り組み」「乳がん・前立腺の疾患について」「効果的なウォーキング」「こころの健康について考えよううつ病について」など「元気プラン新居浜 2 1」に基づいた研修会を行いました。

また、今年度につきましては、4 月に「国保課の医療費分析をとおして」ということで、国保の医療費分析の結果を話していただき医療費の現状について学習しました。このあと地域社会振興財団の研修費用をいただき、地域での推進員活動を活性化させるための研修会や善通寺市の推進員との交流会を予定しています。

運動推進としましては、21 年度はウォーキングマップの普及として、種川コースをウォーキングしました。「家庭でできる若返り体操」に関しましては、音楽を付け体操をリニューアルしましたので、愛称を募集し、この協議会で、愛称の選考をお願いいたしまして「にいはまげんき体操」に決定し、9 月 30 日に愛称の発表と表彰式・体操の披露を文化センター中ホールで開催しました。そのあと、心の健康づくりの一環として、体操の音楽をつけていただいたエレクトーン講師のコンサートを「ヒーリングコンサート」として開催いたしました。また、体操のパフレットをリニューアルいたしましたり、DVD・CD を作成し貸出しをしております。

また、今年度につきましては、推進員活動のグループワークを「にいはまげんき体操 PR グループ」「健診率アップグループ」「高血

「圧予防グループ」の3グループに分かれ活動しています。その「にいはまげんき体操PRグループ」は、作成したDVDをサークルや保育園企業で活用普及してもらい、運動習慣の定着に役立てる活動をしています。また「健診率アップグループ」は、今年のグループワークから受診率の向上に向けての検討をしていましたものを引き続き具体的な対策を考えております。その中で効果的な周知方法として、8月号市政だよりに健康都市づくり推進員によるがん検診レポートと題し、集団がん検診の会場を取材掲載しています。また、「がん検診をなぜ受けないのか」などのアンケートを実施する予定になっています。「高血圧予防グループ」は、新居浜市の健康問題である、受療率の高い「高血圧予防」に焦点をあて、国保課と共催している「ミニ健康まつり」で減塩に関する意識アンケートや塩分摂取状況調査を実施しています。

心の健康づくりに関しましては、今週水曜日7月14日にヒーリングコンサートを開催いたしました。その模様については、今からお見せいたします。(写真1)こちらの写真はヒーリングコンサートの案内ポスターです。(写真2)こちらは会場で健康都市づくり推進員さんの活動を紹介しているコーナーです。(写真3)ヒーリングコンサートでは健康都市づくり推進員が役割分担をして活動しています。これは当日、会場で受付を担当したものです。健康都市づくり推進員は啓発のためにブルーのTシャツを着て受付を担当しております。(写真4)こちらは第1部、特別講演「大切な家族のために知っておきたいこと」がん患者からのメッセージと題し、おれんじの会理事長 松本陽子先生に講演をお願いしました。(写真5)こちらは「にいはまげんき体操」PRのために、金子保育園児と推進員さんが体操を披露しています。(写真6)当日は雨だったんですが文化センター中ホールに520名位いらっしゃいました。(写真7・8)こちらは、第2部こころ健康づくりのために、ピアノ講師星加輝代さんのピアノコンサートを開催しました。心を癒すお話を交えて参加されているみなさんは満足されてかえりました。この写真については健康都市づくり推進員が撮影しました。今日の愛媛新聞にヒーリングコンサートの写真入りの記事が載っていましたね。あと、事業参加協力として、いきいきウォーキング大会の開催を今年度も11月23日に予定しております。また、市民への啓発活動としましては、検診等の受診勧奨はミニ健康まつり等の場を利用して行うこととなっています。続いて11ページに健康都市づくり推進ライフサイクル表を載せております。また、こちらの方は見ていただきまして、健康都市づくり推進員活動についてはトータル事業の中の10番目ぐらいに載っております。最後になりましたけれど(写真9・10)こちらの協議会のほうで昨年、体操の愛称を選考していただきましてこちらの協議会で「にいはまげんき体操」と決定されました。昨年の映像ですがこの方が「にいはまげんき体操」と命名された方で大橋会長においでいただきまして表彰状を渡していただきました。昨年はどうもお世話になり、ありがとうございました。

議長（大橋）

保健センターのみなさん本当に多岐にわたっているいろいろ取り組まれておられまして本当にありがとうございました。

時間もせまっていますので予定となっていた議事も終了となりました。特にはないですか？

健康づくりは大きな成長をみられたように思います。禁煙推進・受動喫煙防止こういったところは特に新居浜市は先進地域だと思いますし、そういう点での特徴があるように思います。いま一層の御精進をお願いいたします。これで私の司会を終わらせていただきます。みなさん、御協力ありがとうございました。

事務局

以上をもちまして、本日の会議を終了いたします。
本日はありがとうございました。